

## 令和元年度「立科町がんばる地域応援事業」の採択状況について

○この事業は、地域の活性化及び協働のまちづくりを推進するための地域づくり活動に対し、町が補助金を交付するものです。

○今年度も多くの申請をいただき、次の18事業が採択されました。

### 実施団体及び事業名一覧

(令和元年7月10日現在)

No.	実施団体名	事業名	事業年数	概要
1	桐原そばの会	そばの生産による住民の交流事業	10	桐原住民の親睦と畑の荒廃化を防止するため、そばを栽培する。そば打ち講習会により、世代を超えた交流を図る。
2	細谷そばの会	農地の保全・蕎麦作りで地域の活性化	10	細谷区を中心に遊休荒廃地を農地再生し、立科産「信州ひすいそば」のブランド化の確立をめざす。
3	真蒲自治会	真蒲自治会 灯籠作成事業	9	灯籠貼りや灯籠飾りを通じて、自治会員相互の交流と親睦を図る。 灯籠の文字、図柄は自由で、子供の絵など募集し家族で参加できるようにする。
4	地域活性美花の会	美しい地域づくり 「花いっぱい」 環境美化推進事業	7	地域の事業者が連携し、地域住民との協働で「美しい町づくり」の一環として、県道沿線周辺に花を咲かせ、人々の心を癒し、魅力づくりを行う。
5	西町桜の会	西町桜の会	7	桜並木の景観保護。コミュニティを形成し、地域の担い手、人材の育成を図っていく。
6	サンフラワー日向	美しい地域づくりと人材を育成する事業	7	日向部落住民有志が中心となり、地域環境美化と立科の地域を担う人材育成を図る。
7	藤沢なごみ会	(「そば」でつなぎ、延ばす、互助の郷)づくり	6	遊休地で「ヒスイそば」を栽培する。そば打ち技術の習得・そば食文化の普及振興に努めつつ地域の皆様への振る舞い会・そば講演会を開催。食(そば談義)と語り(世代交流)を通じて良好な地縁(互助の郷)づくりを図る。
8	JA佐久浅間株式会社 社アメック	花いっぱい運動	5	R142号沿いJA立科給油所前の歩道にある花壇を整備することで、観光客及び地元の人々の目を喜ばせる。
9	たてしな歴史研究会	たてしな町民歴史公開講座	5	立科町の歴史に関する講座を企画運営し、町民及び町外の方々に、立科町の良さと歴史を再認識してもらうことで、町民の郷土愛と価値を高める。
10	粉んなもの会	粉もの料理で幸せづくり	4	農楽・食楽・語楽 其々作れるもの(大豆・小麦・お米)を収穫、製粉してアイデア料理を提供し試食して作り方を学び合う。また、情報交換も大いにして日々の生活の一助(元気・思いやり・癒し等)、明日への活力につなげる。
11	ぶらりSHINDENまち歩き実行委員会	地域のお宝再発見！ ぶらりSHINDENまち歩き	4	西塩沢地域(新田)の自然、歴史、人に光を当て、地域の魅力を再発見し、交流による活性化を図る。

12	ラビットクラブ	南裏町道沿いに花を植える	4	南裏町道沿いに花を植え、環境美化を行う。
13	カントリーロード花ぐみ	花の道づくりと自然活用学習会	3	「立科町には花と風がよく似合う」がキャッチフレーズに主要道路沿い花壇2カ所の手入れ、整備を実施し町の景観づくりをすすめてきた。花のある暮らしの良さを地域や観光に活用し、美しい町づくりを実施する。
14	芦田宿商店街エリアにぎわい創出グループ	芦田宿商店街をとにかく盛り上げよう大作戦	2	空き店舗や空き家が目立つ芦田宿商店街の活用方法を、地域住民とともに考える場を設け、そのアイデアを実行していき、新たなにぎわいを創出するきっかけづくりを行う。
15	たてしな蕎麦味会	そば打者の育成及び蕎麦食普及事業	2	立科町は蕎麦の特産地化を推進しているため、町内産のそばを活用し、蕎麦の打ち手を育成し、地産地消の実現に寄与する。
16	芦田城址保存会	芦田城址の景観保全・歴史継承プロジェクト	2	立科町指定文化財の「芦田城址」は、未整備の期間が長くなったことで荒廃地となり、竹林が広がり展望も出来なくなり、藪で遠目から看板も確認出来なくなった。そのため、新たに団体を設立し、保存活動、整備活動、歴史継承活動をおこなっていく。
17	JOY JOY Village	JOYファーム	1	子どもたちが立科の豊かな自然の中で過ごす機会を作る。 野菜作りを教えてもらうことで地域の方との多世代交流や新たなコミュニティの場を構築する。 育てた野菜で、子育て世代が楽しく交流できるイベントを行う。
18	がんばれ風の子体験事業実行委員会	がんばれ風の子体験事業	1	少子高齢化が進む中で子どもたちは地域でも家庭でも体験の機会を持つことが難しくなっている。体験の機会を創出し、そこから得られる学びを支援する。